



30歳の頃、アメリカ・ボストンの研究室に参加。「医学研究者としての考え方を学んだ有意義な3年間でした」と当時を振り返る。

Surgery

医療最前線

»»vol.62

川崎医科大学総合医療センター 外科



Report!

全人的な外科治療で 多様な患者のニーズに応える



長年、食道がんをはじめとした消化器外科診療に従事してきた山辻教授。より安全性に配慮した適切な手術を目指して日々の診療に取り組んでいる。

「刀削麺」ってご存じですか。麺料理のひとつですが実は大好物なんです。学会の際はいろんな街の刀削麺を食べ歩きます。それが息抜きかな(笑)。

山辻知樹 教授
Tomoki Yamatsuji

■ 専門分野

消化器外科、食道外科、がん化学療法

■ 専門医・認定医・指導医

日本外科学会外科専門医・認定医・指導医、日本消化器外科学会消化器外科専門医・指導医、消化器がん外科治療認定医、日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医・指導医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、日本癌治療学会代議員、日本臨床外科学会評議員、医学博士ほか



「総合外科」というカタチで、
個々の患者に最適な診療を。

「近年、医療の進化とともに多くの
大病院の外科が臓器・機能別に細
かく専門分化されてきました。こ
うした細分化は、専門的な手術・手
技の追求にはよい面もあるかもしれ
ませんが、現代の地域医療で求めら
れるオールラウンドかつ全人的な医療
を行なう意味では、必ずしも最適の
方法とはいえません」と話すのは山
辻知樹教授。食道外科、消化器外科
などを専門とし、現在は外科部長
としてチームを率いている。

全国の病院で内科や外科が専門分
化されていく傾向にあるなか、川崎医
科大学では、二〇一〇年四月に総合外
科教室を開設、山辻教授は立ち上げメ
ンバーのひとりとして、尽力してきた。
「二人ひとりの患者さんを臓器別や疾
患別ではなく、「総合的」に診療するこ
と。その背景には高齢化にともない、
複数の疾患を抱える患者さんが年々
増えており、個々の患者さんに最適
な診療を提供するためには、「総合外科」
というカタチも必要という判断があっ
たからです」と山辻教授は話す。

二〇一六年十二月、川崎医科大学総
合医療センターが開院した際には、ほ
ぼすべての外科診療を行なうことが
できる体制が整った当科。「患者数の
増加に対し、臓器別・疾患別に医局や
病棟を細分化させるのではなく、「総
合外科」として発展させていきたい」と
山辻教授は今後の決意を述べる。

「喜んでもらえる治療」を
医療チーム全員のチカラで。

現在、川崎医科大学総合医療セン
ターの外科では、消化器外科、心臓血
管外科、乳腺甲状腺外科、呼吸器外
科などの専門分野に精通した医師た
ちが日々診療にあたっている。

「こうした体制を築くことで、ひとり
の患者さんを「全人的」に診ることが
可能になりました。加えて次代を担う
若い医師たちが、「ひとつの科」でさま
ざまな知識・技術を学ぶことができま
す。これにより大病院が担うべき、
「人材育成」という大事な使命を果た
すことができるようになりました」。

最後に医師としての心得。
「患者さんのために私たちができる
ことは何か。何をすべきかをつねに
考えています。患者さんの状況や
QOL(生活の質)に配慮した、可
能な限り心身への負担が少ない外科
手術、喜んでもらえる治療にこれか
ら医療チーム全員で取り組んでい
きます」。

各分野のスペシャリストが結集した
総合医療センターの「外科」。各々さ
いユニットであってもレベルの高い外科
診療や医学研究を目指し、国内外に
発信したいという山辻教授。これから
の時代にふさわしい「外科」のあり方
に、各々から注目が集まっている。

お問合せ

川崎医科大学総合医療センター

岡山市北区中山下2-6-1

086-225-2111

http://g.kawasaki-m.ac.jp